



七松小学校 学校だより

令和3年度
3月臨時号
尼崎市立七松小学校
校長 江上佳宏

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

《 学校評価 保護者アンケートについて 》

領域	評価項目	人数 (132人)					
		よくできている	大体できている	あまりできていない	できていない	わからない	
Ⅰ 学校に関するもの	1	各種のたより、ホームページなどで、本校の教育活動や教育課題をわかりやすく伝えている。	67	58	1	1	5
	2	学校は、授業参観や行事、懇談会など保護者や地域住民との交流の機会をよく設けている。	54	35	9	7	27
	3	子どもの安全管理について、不審者の侵入を防ぐ対策が整っている。	77	30	11	1	13
	4	校舎内の清掃はいきとどいている。	74	44	5	0	9
	5	学校に入ると子どもの活動している様子が、その時々掲示されている。	60	58	2	0	12
	6	学校は、保護者・地域住民の声や願いに応える教育を積極的に行っている。	65	36	5	1	25
	7	学習の内容や進度などを、各種のたよりや懇談会などによって知ることができる。	62	56	4	2	8
	8	学校は新型コロナウイルス感染症防止策を適切にとっている。	60	54	4	0	14
	9	教職員に、子どもの心身の健康について気軽に相談できる。	64	51	9	4	4
	10	学級担任や教職員は、子どもの間違った行動は適切に指導している。	66	57	2	1	6
	11	学級担任や教職員は、子どもの心を育てる仲間づくりに取り組んでいる。	62	56	2	2	10
Ⅱ 子どもと保護者に関するもの	1	子どもは進んで挨拶をしている。	31	61	32	0	8
	2	子どもは、学校に行くのを毎日楽しみにしている。	63	59	9	1	0
	3	子どもの生命を大切にす心や社会ルールを守る態度が育ってきている。	72	54	3	0	3
	4	子どもは、学級に居場所があり友達との絆があると思う。	62	61	4	1	4
	5	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	75	50	5	1	1
	6	学校から送られてくるいろいろな文書などは、ていねいに読んでいる。	36	76	18	2	0
	7	授業参観日や懇談会などには、都合のつくかぎり出るようにしている。	79	50	2	0	1
	8	子どもの様子は、変化があればすぐ学校に知らせている。	27	78	19	3	5
	9	子どもは、交通安全を守る等安全な行動や身を守る行動がとれる。	31	83	14	0	4
	10	家庭では、家庭学習、しつけや基本的な生活習慣に注意を払って指導している。	21	94	15	0	2
	11	学校での様子を子どもと話し合う機会をもっている。	29	82	20	0	1
	12	登校時や下校時は外へ出て子どもたちの安全に配慮している。	16	50	41	23	2

《 学校関係者評価について 》

職員の学校評価や保護者アンケート、学力・学習状況調査の結果等をもとにして、学校評議員会を開催し、その時にいただいた意見を以下に示させていただきます。

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む

学力は、学習規律・学習習慣が身につけているため、基礎的・基本的な知識・技能が定着している。GIGA スクール構想により、いずれの学年においても、オンライン授業が実施できることが確認できた。休み時間にパソコンを使っている子どもが気になった。できる限り外で遊ぶよう促していきたい。

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

子どもたちは、すすんで挨拶ができる。引き続き、家庭と連携し、あいさつを含め、凡事徹底（三つのあたりまえ）が習慣化し、学校だけでなく、日常生活にもできるよう育てていただきたい。2年越しのコロナ禍にあり、社会も不安定になり、青少年の自殺が増えている。引き続き、子どものSOSをしっかり受け止め、迅速な対応がとれるよう引き続きお願いしたい。

3 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む

コロナ禍にあって、地域来賓の参加について、制限を行ったことは、子どもの命、地域住民の命を守る上で適切であったと考える。令和2年度と違い、修学旅行・体育大会・図工展・オープンスクールの実施等から、七松小学校の「学びを止めない」取り組みが感じられた。引き続き、感染防止を徹底したうえで、学校を開いていただきたい。

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

施設・設備管理に力を入れ、安全で美しい学校づくりに取り組んでいる。今年度は、森のオアシスの落葉や樹木の茂りによるカラスの居つきが苦情として挙げたと聞いている。校地周辺の樹木も剪定を行い、学校の努力がうかがえるが、七松の森は、地域住民や保護者が大切にしている本校のシンボルである。できるだけ自然の豊かさが感じられるよう配慮をお願いしたい。地域の幼稚園・保育所と連携した、地震や津波を想定した訓練を計画したことは、大切なことである。近い将来、確実に来ると言われる南海トラフから命を守るよう備えていただきたい。

○ 教育目標

6年生が取り組んだゴミを減らすプロジェクトについて、ふるさと七松・ふるさと尼崎をキーワードに地域の方とよりよい社会を考えることは、豊かな社会を創造する人材育成につながった。地域学校協働本部と引き続き連携されたい。

○ 研究テーマ

校内研究のテーマのもと、言語活動を取り入れた授業公開を全教員が取り組んでいる。しかし、日常の授業を見て、教職員間で、取り組みのばらつきを感じた。今年度からノート検定は廃止されたが、引き続き、ノート指導は、継続されたい。GIGA スクール構想での機器の活用については、学びを深めるツールとして取り組まれていることは、素晴らしい。これと並行して、場に応じた学習方法を大切にしていきたい。